

令和2年5月25日(月)

日本応用経済学会事務局

## 日本応用経済学会春季大会オンライン大会案内

### 2020年度春季大会に向けて

現在、日本をはじめ世界の国々や地域は、未曾有の新型コロナによるパンデミック禍の真ただ中であって、住民や事業者の行動自粛が要請された状況にあります。この事態は、日本応用経済学会のみならず内外の研究活動組織、研究者にとって、自由な交流活動や情報交換に大きな制約を課すものであり、とくに、これまで培ってきた方法(従来型の研究発表の形式など)に大きな転換を迫るものです。

このため、日本応用経済学会理事会は田中廣滋会長のもとで大会開催について検討の結果、2020年度春季大会の予定開催校(熊本大学)での開催を中止し、Zoomによるオンライン大会を6月20日(土)21日(日)開催することを決定しました。その際、開催に関わるリスクを極力小さくする方向で開催するため、(1)総会はオンラインでは行わず、メール形式で行なう、(2)学会賞授賞式、学会賞受賞者講演は秋季大会(2020年10月24日、25日予定)に行なう、(3)恒例の韓国KEBAとの学術交流は行わないことにしました。

Zoom使用によるオンライン会議につきましては「代替措置運営検討委員会」(座長薮田雅弘副会長)のもとで検討いたしました。以下のオンライン会議要領で皆様にご案内いたしますので、十分ご確認のほどお願いいたします。何分、初めてのオンライン大会の開催なので、会員の皆様にはご負担をお掛けすることになると思いますが、なにとぞご協力・ご理解のほどよろしくお願いいたします。また、本大会が実り豊かなものになるためにも大会への会員皆様の積極的なご参加のほどをお願いいたします。なお、オンラインで利用するZoomに関する追加の注意事項は、後日、会員の皆様宛に送付いたします。

## オンライン大会の開催要領

### 1. 2020 年度春季大会 開催運営に関する諸注意事項

#### 1. 受付について

受付はございません。

#### 2. 大会参加費について

大会参加料の徴収はございません。

#### 3. 参加の場所について

ご自宅、研究室等のオンライン会議を実施できる環境の場所にてご参加下さい。

#### 4. 大会の参加方法について

- (1) Zoom によるオンライン会議で実施いたします。報告者、討論者、座長、司会者、講演者、および一般会員の皆様は、あらかじめ、Zoom (無料版) のサインアップ (利用者登録) をお願いします (Zoom の URL: <https://zoom.us/> からサインアップをお願いします)。なお、一般セッションの報告者と招待講演および特別セッションの司会者は、会議の主催者 (ホスト) となって頂きますので、6月17日 (水) までにあらかじめ、Zoom (無料版) のサインアップ (利用者登録) をお願いいたします。すでに有料版をご契約の場合は、あらためてサインアップの必要はございません。

一般セッションの討論者と座長、招待講演者、特別セッション講演者、そして一般会員の皆様は、後述のように学会事務局から送られる Zoom 会議室の URL 一覧から参加可能です。なお、以下についてご注意ください。

- ① Zoom のミーティングクライアントをインストールしている場合、Zoom アカウントは必要ありません (ミーティングクライアントは <https://zoom.us/> からダウンロードできます)。
- ② ミーティングクライアントをインストールせずにブラウザでアクセスする場合、Zoom アカウントが必要です。

### 2. 2020 年度春季大会プログラムの時間配分

プログラムには、一覧表にあるように、一般セッション、招待講演、特別セッションがあります。

## 2.1 一般セッション報告

- (1) 報告者、討論者、座長の三者に加えて、学会員が参加できます。但し、報告者、討論者、座長を含め、100名までです。
- (2) 報告時間は、報告25分、予定討論、それに対するリプライで10分、バッファ5分とします（Zoom（無料版）の利用となりますので、40分で1報告の全体が終了となります。）
- (3) Zoom（無料版）では、3人目が会議室に入室してから40分経過した時点で会議は自動的に終了となります。その場合、討論等の途中であっても報告終了となりますのでご注意ください。
- (4) 開始時間後に入室された場合に、開始されていない場合はキャンセルの可能性があります。キャンセル等の情報は、事務局確認後、直ちにMLにて配信いたしますので、ご確認ください。

## 2.2 招待講演（全2講演）

- (1) 学会員であればどなたでも参加できます。4-1、4-2を参照にしてください。
- (2) 講演時間は（報告者の紹介を含む）50分です。

## 2.3 特別セッション（covid-19 政策提案）（2つの講演とディスカッションで構成されます。）

- (1) 学会員であればどなたでも参加できます。
- (2) 講演1、講演2はそれぞれ30分の講演、ディスカッション30分、バッファ10分の合計100分です。

## 3. 一般セッション実施要領

一般セッションの実施に関して、以下の要領で行いますので、ご確認・ご協力のほどお願いいたします。くれぐれも失念のないようにお願いします。

### 3-1. 事前作業・準備

#### ● 報告者へ

- (1) 報告者は、報告論文を報告申込書での案内の通り、5月25日（月）までに、座長、討論者、事務局宛にメールにてお送り下さい。
- (2) 報告者は**6月12日（金）15時までに討論者、座長、事務局あてに当日のプレゼン資料ファイル（pdf形式）をメールにて送付下さい。**プレゼン資料ファイルは6月13日以降、事務局にて順次、学会HPにアップします。報告論文を学会HPに掲

載とされる場合はその旨を6月12日15時までに学会事務局までお知らせください。

当日のプレゼン資料のファイル名は次の例に従って名付けをお願いします。

例) セッション1-1Aの第一報告 報告者 応用太郎 の場合

1-1a\_1\_ouyou.pdf

なお、報告者の発表ファイルの事務局への送付が遅れ、6月12日15時以降になった場合でも、事務局に送付ください。事務局でも作業可能な場合はHPに掲載いたします。提出期限以降に送付した報告資料は、原則として、報告者がchat機能を用いて、当日の報告時間内に配布ください。

- (3) 一般セッションでは、報告者に会議室のホストになって頂きます。報告者はホストとして、会議室を設定頂き、設定後、6月17日(水)15時までに座長、討論者、事務局に招待メールをお送り下さい。

### ●会員全体への連絡

6月19日(金)中に、当日の各報告セッションへの入室のために、事務局から会員全員に、MLにて各報告の会議室情報(URL、ID、PW)のプログラムのファイルを送付いたします。ファイルにはPWをかけていますので、PWは別途、MLにてお知らせいたします。また、学会HPにも掲載いたします。当日の会議への入室のための参考にしてください。

### 3-2. 当日の進行上の注意事項

#### ●報告者(会議室招待者(ホスト))

- (1) 開始時間2分前に入室し、直ちにマイクのミュート解除、ビデオオンにしてください。
- (2) 開始時間直前に「セキュリティ」から「待合室の有効化」のチェックを外してください。
- (3) 座長が報告を促しますので、画面共有を使って、報告資料を示し、報告を開始してください。
- (4) 報告終了後、画面共有を終了し、討論者の発言時はマイクをミュートにしてください。
- (5) 討論者へのリプライ時はマイクのミュート解除にしてください。
- (6) 一般会員からの質問・コメントは、Zoomのチャット機能で行われますが、時間があれば、報告者はその場でチャットの中から選択的に返答をすることをお願いします。メールアドレスがある場合は、後刻、報告者から返信するようお願いします。
- (7) 当日の接続・音声などのトラブルはホストが対応してください。

### ●座長（セッション、報告などの時間進行）

- (1) 6月17日（水）15時までに当日の報告の会議室の招待状が報告者から送られてきますので、それからセッション開始時間直前に入室し、入室後直ちに、マイクのミュート解除、ビデオオンにしておいてください。
- (2) 開始時刻になりましたら、開始の宣言し、一般会員に対して「ビデオをオフ、マイクをミュートのままにしてください。」とアナウンスした後、報告者に発言を促してください。報告、討論の時間はマイクをミュートにしてください。
- (3) 報告がおわったら、討論者に討論を促す。さらに、討論者の討論が終わると、報告者のリプライを促して下さい。
- (4) 報告者の討論者へのリプライが終わって、時間がある場合は一般会員からの質疑チャットへの報告者への返答を促すことができます。最後に、報告終了を宣言下さい。

### ●討論者

- (1) 6月17日（水）15時までに当日の報告の会議室の招待状が報告者から送られてきますので、それによって開始時間直前に会議室に入室し、マイクをミュート、ビデオをオンにしてスタンバイしておいてください。
- (2) 報告者の報告が終わりましたら、マイクをミュート解除にしてください。討論時間は、報告者のリプライを含めて10分ですので、コメント等は5分以内でお願いいたします。討論資料ファイル（PPTなど）を用意されている場合は、予め、デスクトップ画面上に開いておいてください。報告者の画面共有が終わりましたら、討論用のファイルを共有機能で表示して発言して下さい。
- (3) 報告者のリプライの間はマイクをミュートにしてください。

### ●一般会員

- (1) 事務局からMLで送信された報告の会議室URL一覧をみて、視聴参加したい会議室に報告開始時間直前に入室下さい。入室時に、ビデオをオフ、マイクをミュートのままにしてください。
- (2) 質問・コメントは、Zoomのチャット機能を利用してください。報告者からの返信が必要な場合は、メールアドレスなどの連絡先を必ず入力下さい。後刻、報告者から返信するようしております（連絡先がない場合は、返信されません）。
- (3) HPに報告資料等を掲載しておりますので、それを参考に視聴される報告を選択下さい。

### ●緊急事態が発生した場合の対処（Zoomの交信不具合で事実上参加が困難となった場合、外部からの侵入など）

- (1) 座長、討論者がともに欠席の場合、報告者が進行役を務め、報告を行い、終了後、

その旨を事務局あてにメールで報告してください。

- (2) 報告者が欠席の場合は、報告キャンセルとし、座長が、その旨、事務局あてにメールで報告してください。
- (3) その他、突発的な事項が発生した場合には、ホストである報告者が座長と、中止を含め協議し、対応してください。その後、座長から事務局へその旨を報告下さい。

## 4. 招待講演実施要領

招待講演の実施に関して、以下の要領で行いますので、ご確認・ご協力のほどお願いしております。失念のないようにお願いします。

### 4-1. 事前作業・準備

- (1) 司会者は招待講演のホストとなります。会議室を設定頂き、6月18日（木）までに招待講演者、事務局に会議室の招待メールの送信をお願いいたします。事務局にて6月19日（金）中に会議室のURLを会員へMLにて送信いたします。
- (2) 講演者はお手数ですが、6月17日（水）15時までに講演資料を事務局に送信下さい。講演資料については、学会HPに掲示いたします。（HP上で会員にのみの閲覧設定をします。）
- (3) 一般会員は学会HPのプログラム（PDFファイル）上にある会議室情報（URL、ID、PW）を使ってご参加ください。

### 4-2. 当日の注意事項

#### ●司会者（会議室招待者(ホスト)）+会議の運営

- (1) 開始時刻2分前までに会議室に入室し、直ちにマイクのミュート解除、ビデオオンにしてください。
- (2) 開始時間直前に「セキュリティ」から「待合室の有効化」のチェックを外してください。
- (3) 招待講演者を確認し、時間になりましたら、講演開始時に「ビデオをオフ、マイクをミュートのままにしてください。また、ご質問はチャット機能をつかってお願いします。」とアナウンスし、講演者の紹介などを行ってください。
- (4) 講演者紹介後、講演者にボタンタッチしたら、マイクをミュートにしてください。このとき、ビデオをオフにして頂いても構いません。
- (5) 講演が終わったら、マイクをミュート解除にして、時間があれば、一般会員のチャットによる質問に答えてもらうよう促すことができます。返答後、講演の終了を宣言して終わってください。

(6) 当日の接続・音声などのトラブルはホストが対応します。

#### ●講演者 45分

- (1) 開始時間直前に会議室に入室し、直ちにマイクのミュート解除、ビデオオンにしてください。
- (2) 司会から促されましたら、画像の共有によって、資料をアップし適宜操作して、講演を開始下さい。
- (3) 司会者から時間があるので一般会員からのチャットでの質問に返答できると指摘があったときは、チャットに対して選択的に返答をお願いします。

#### ●一般会員

- (1) 学会事務局から送信された会議室情報（URL,ID,PW）をもとに報告開始直前に入室下さい。人数制限はありません。
- (2) 入室時（または、入室後）に、必ず ビデオをオフ、マイクをミュートのままにしてください。
- (3) 質問がある場合は、Zoom のチャット機能を使って質問を送信下さい。時間があれば報告者が選択的に返答します。また、後刻、回答が欲しい場合は、連絡先（メールアドレス）も記入してください。

#### ●緊急事態が発生した場合の対処（Zoom の交信不具合で事実上参加が困難となった場合、外部からの侵入など）

- (1) 招待講演者が欠席（交信機能の不具合を含む）の場合には、直ちに司会が事務局にメールまたは電話にて連絡してください。事務局から、招待講演の中止を会員の ML で一斉に送付いたします。
- (2) その他、突発的な事項で講演が遂行不可能となった場合も同様に、司会の判断で中止を決定し、事務局にメールまたは電話（080-5321-7299）で連絡してください。事務局から、招待講演の中止を会員の ML で一斉に送付いたします。

## 5. 特別セッション（covid-19 政策提案）実施要領

特別セッションの実施に関して、以下の作業・準備が必要ですのでご確認ご協力のほどお願いいたします。くれぐれも失念のないようにお願いします。

### 5-1. 事前の作業・準備

- (1) 司会者は会議のホストとなります。会議室を事前に設定頂き、6月18日（木）までに講演者、事務局に招待メール（会議室情報）を送信下さい。 covid-19 政策提

案セッションの会議室情報（URL、ID、PW）は19日中に会員にMLにて通知いたします。

- (2) 講演者は6月16日（火）までに当日の報告資料を事務局にお送りください。受領いたしましたファイルは学会HPに掲載いたします（会員のみ閲覧可能。）。
- (3) 会員の皆様は、学会HPのプログラム(PDFファイル)上にある会議室情報(URL、ID,PW)を使ってご参加ください。

## 5-2 当日の作業・準備事項

### ●司会（会議室招待者（ホスト）＋会議の運営（セッションの時間進行））

- (1) 開始時刻2分前までに会議室に入室し、直ちにマイクのミュート解除、ビデオオンにしてください。
- (2) 開始直前に「セキュリティ」から「待合室の有効化」のチェックを外してください。
- (3) 講演者を確認し、時間になりましたら、一般会員に対して「ビデオをオフ、マイクをミュートのままにしておく。」ことをアナウンスし、特別セッションの趣旨説明、講演者の紹介などを行ってください。
- (4) 講演者紹介後、講演者1にボタンタッチしたら、マイクをミュートにしてください。このとき、ビデオをオフにして頂いても構いません。講演1がおわりましたら、マイクをミュート解除にして、講演者2に講演を促してください。
- (5) ディスカッションについては、講演者同士の議論、一般会員による質問があります。一般会員からの質問については、フロアからのチャット機能による質問に答えてください。その他、質疑の仕方は当日説明します。
- (6) 当日の接続・音声などのトラブルはホストが対応してください。

### ●講演者による講演各30分およびディスカッション30分

- (1) 講演者1：特別セッション開始時間直前に会議室に入室し、マイクのミュート解除、ビデオオンにして下さい。
- (2) 講演者2：特別セッション開始時間前直前に会議室に入室し、マイクミュート、ビデオオンにして下さい。
- (3) 講演者1は司会の促しがあったら、講演を開始下さい。
- (4) 講演者2は司会からの促しがあったら、マイクをミュート解除にして、講演を開始下さい。
- (5) ディスカッションでは、返答するときマイクをミュート解除にして、開始下さい。

### ●一般会員

- (1) 事前に学会から受け取った会議室情報（URL、ID、PW）をもとにセッション開始



直前に入室してください。人数制限はありません。

- (2) 入室後、必ずビデオをオフ、マイクをミュートのままにしておく。
- (3) 質問がある場合は、Zoom のチャット機能を活用下さい。質疑の仕方については当日指示します。

● **緊急事態が発生した場合の対処（Zoom の交信不具合で事実上参加が困難となった場合、外部からの侵入など）**

- (1) 講演者全員が欠席（交信機能の不全を含む）の場合には、直ちに、司会が事務局に連絡してください。事務局から、 covid-19 政策提案セッションの中止を会員の ML で一斉に送付いたします。
- (2) その他、突発的な事項で講演が遂行不可能となった場合も同様に、司会の判断で中止を決定し、事務局にメールか電話（080-5321-7299）で連絡してください。事務局から、招待講演の中止を会員の ML で一斉に送付いたします。

## 6. その他

- (1) Zoom に関する注意事項（Zoom の簡単な操作マニュアル、Zoom の画面共有のデフォルトの換え方などの操作、注意書き、回線、音声切断などの状態になった時への対応、などを含む）は、6 月 5 日ごろまでには会員の皆様にお送りいたします。また、学会 HP に掲載いたします。
- (2) 本要領は 5 月 25 日時点での情報で作成しております。運営上の基本内容が変更されることはございませんが、仔細な点の変更がある場合は、改訂版にてお知らせいたします。
- (3) その他、お気づきの点がございましたら、事務局にメールにてご連絡下さい。  
(jaae@jaae.org)

(以上)

# 2020年度日本応用経済学会春季大会プログラム(案)

< 報告時間25分、討論はフロアからの質疑を含めて10分 >

第1日 6月20日(土)

作成時点  
変更

11:00		理事会 会場:			
セッション名	Session 1-1A English Session I	Session 1-2A 金融市場	セッション 1-3A 産業組織 I	セッション1-4A ミクロ経済分析	
	Chair Kunio Urakawa (Kyushu University)	座長 藤田康範(慶應義塾大学)	座長 宍倉 学(長崎大学)	座長 吉沢裕典(長崎大学)	
第1報告 13:00~13:40	Decomposition of Density into their Components: Analysis for the case of Japan Presenter Augusto Ricardo Delgado Narro(Waseda University) Yuya Katafuchi(Research Institute for Humanity and Nature) Discussant Shogo Fukui(Yamaguchi University)	相続税・贈与税と株式投資 報告者 大野裕之(東洋大学) 林田実(北九州市立大学) 討論者 伊藤伸介(中央大学)	R&D investment and welfare in oligopoly Presenter 劉 鶴(名古屋大学) 吉田 翔平(獨協大学) Discussant 大川 隆夫(立命館大学)		
第2報告 13:50~14:30	Myanmar's Manufacturing Exports after the Lifting of Economics Sanctions Presenter Thein Mon Soe(Saitama University) Hiroyuki Taguchi(Saitama University) Discussant Aye Chan Pwint(Kumamoto Gakuen U)	東アジアの高齢化と金融資本市場再考 報告者 木原隆司(獨協大学) 討論者 小黒一正(法政大学)	Consumer Search and Stock-out: A Laboratory Experiment. 報告者 橘高勇太(大阪大学) 三上亮(大阪大学) 討論者 佐藤 進(東京大学)	新古典派モデルによる二重経済下の賃金決定 報告者 久保 宏和(九州大学) 三浦 功(九州大学) 討論者 長島正治(埼玉大学)	
セッション名	Session 1-1B English Session II	Session 1-2B 地域政策	Session 1-3B 企業統治	セッション1-4B 産業組織 II	セッション1-5B 金融
	Chair Fumiki Sakurauchi(前・衆議院議員、元・東京大学客員研究員、元財務)	座長 佐野浩一郎(広島大学)	座長 相浦 洋志(南山大学)	座長 藤田 涉(長崎大学)	座長 藤田康範(慶應義塾大学)
第3報告 14:40~15:20	Monetary Policy Rule and its Performance under Inflation Targeting in Southeast Asia Presenter Mesa Wanasilp(Saitama University) Hiroyuki Taguchi(Saitama University) Discussant Victoria Alekhina(Keio University)	Data Sharing and Revenue Distribution Rule 報告者 小黒一正(法政大学) 討論者 木原隆司(獨協大学)	最適取締役会構成の経済分析ー社外取締役、支配の私的便益、および開発投資コストの回収可能性ー 報告者 熊谷啓希(熊本学園大学) 細江守紀(九州大学名誉教授) 討論者 佐藤茂春(中京大学)	e-コマース型プラットフォームにおける情報の透明性とそれが売手やオフライン小売業者に与える影響 報告者 角田 侑史(神戸大学) 善如 悠介(神戸大学) 討論者 服部圭介(青山学院大学)	Inventory as a Liquidity Provision Channel 報告者 南ホ Chol(北星学園大学) 討論者 増田 公一(千葉経済大学)
第4報告 15:30~16:10		Urbanization and political redistribution 報告者 宮澤和俊(同志社大学) 黒田達朗(椛山女学園大学) 内藤徹(同志社大学) 討論者 焼田紗(名城大学)	子会社における株主構成の分析 報告者 吉田友紀(佐賀大学) 討論者 川崎晃央(大分大学)	Behavior-based personalized pricing: When firms can share customer information 報告者 松島法明(大阪大学) Chongwoo Choe(Monash University) Mark Tremblay(Miami University) 討論者 善如悠介(神戸大学)	Understanding the Gains from Wage Flexibility: How Default Risk Channel Works? 報告者 岡野衛士(名古屋市立大学) 討論者 江口允崇(駒沢大学)
16:20~17:10	招待講演 演題: 熊本市の先進的な公共交通戦略とその成果 バス事業再編に対する学術面からの視座 講演者 溝上章志(熊本大学大学院先端科学研究部・工学部 教授)				司会: 池田康弘(熊本大学)

第2日 6月21日(日)

9:00～	受付開始 受付場所:					
	セッション2-1A	セッション2-2A	セッション2-3A	セッション2-4A	セッション2-1B	
セッション名	地域と環境	実証・計量分析	経済成長	企画セッション	English Session III	
	座長 中山恵子(中京大学)	座長 林田 実(北九州大学)	座長 伊ヶ崎大理(日本女子大学)	座長 神野真敏(南山大学)	座長 堀 勝彦(琉球大学)	
第1報告 9:30～10:10		日本遺産の外部効果—ヘドニック法による実証分析— 報告者 岡安麗奈(青山学院大学) 討論者 藤崎聖也(信州大学)	Economic Growth and Domestic trade Policy 報告者 福岡比呂志(熊本学園大学) 討論者 福田勝文(富山大学)			
第2報告 10:20～11:00		地方自治体の債務水準が地方財政の支出構造に与える影響 報告者 浦川邦夫(九州大学) 近藤春生(西南学院大学) 入江政昭(九州大学) 討論者 松浦司(中央大学)	Capital-Skill Complementarity, Biased Technical Change, and Balanced Growth 報告者 巽 一樹(兵庫県立大学) 討論者 室 和伸(明治学院大学)	数値計算のマクロ経済分析(MatlabまたはVBAの使用例) 報告者	Productivity Growth in Dynamic Factor Adjustment for the Japanese Manufacturing Industry Presenter Sangho Kim(Ritsumeikan Asia Pacific University) Discussant Cheolsoo Park(Kumamoto Gakuin Univ.)	
第3報告 11:10～11:50	富士山噴火が地域の生産活動に与える被害と復旧過程に関する研究 報告者 立川力(豊橋技術科学大学) 洪澤博幸(豊橋技術科学大学) 討論者 内田晋(茨城大学)	The Effects of Unions on Employment Conditions in Japanese SMEs 報告者 松浦 司(中央大学) 討論者 小葉武史(熊本学園大学)	Regional and Sectoral Varieties of VAT Pass Through in Japan 報告者 平賀一希(東海大学) 討論者 中村周史(中央大学)		Fiscal policy, inequality, and economic growth: a case study of Japanese prefectures Presenter Kako-Ouraga Patricia(Kyushu University) Discussant 新居理有(愛知大学)	
13:00～13:50	招待講演 演題: The New Normal: Labor's Share Fall and Structural Change 司会 坂上智哉(熊本学園大学)					
14:00～15:40	Covid-19政策提案特別セッション(各報告:30分、ディスカッション:30分) 司会 木原隆司(獨協大学)					
	「Covid-19社会への経済からの政策提案」 講演1: 新型コロナウイルス対策 —検査・追跡・隔離と行動制限の比較、生活支援の所得連動型給付の提案— 講演者 小林慶一郎(東京財団政策研究所・研究主幹)					
	講演2: 新型コロナウイルス感染拡大からの「命も経済も守る出口戦略」 講演者 小黒一正(法政大学)					